

ID	氏名		様		病名:		症状:		年 月 日				
経過	 入院・手術前日		手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4～6日目	術後7日目	退院日	退 院 療 養 計 画 書		
月 日	 /		/		/	/	/	/	/	/			
目標	【手術前】 ・手術について理解し、準備が整っている ・安心して手術に臨むことができる				【手術後】 ・痛みが最小限で過ごすことができる ・血尿による管の閉塞がなく経過する				【退院基準】 ・尿の管を抜いた後、排尿がある ・発熱がない ・尿漏れがある場合対処できる ・創部の異常がない		退院日(予定)		
											月 日		
食事	食事は食べられます 	21時より禁食	時以降飲水禁止 	飲食禁止 	許可がでたら飲水出来ます 許可がでたら食事を開始します 						退院後の治療計画		
安静度	 制限はありません		手術室には歩いて行きます 歩けない方はストレッチャーで行きます	帰室直後はベッド上で安静が必要です 許可がでたらベッド上で座ります 状況に応じて病室内の歩行から始めます 初回は看護師が付き添い歩行します 							歩行許可が出たら、頑張って歩きましょう		□旭川赤十字病院泌尿器科 外来にて通院治療を行います □その他
排泄			手術前に座薬を使用します	手術後は尿の管が入ります			許可がでたら尿の管を抜きます(抜く際に検査が必要となることがあります) 毎回、尿量と尿漏れの量を測定します						
清潔	 シャワー浴ができます			 身体を拭き着替えます		背中痛み止めの管が抜けるとシャワー浴ができます 				退院後の療養上の留意点			
薬点滴	 内服中の薬を確認します  薬剤師より薬の説明があります			手術後、点滴をします 手術後、背中に痛み止めの細い管が入ることがあります ★痛い時は注射や座薬を使います	★持参された内服薬は医師の指示で再開します 必要に応じ痛み止めの内服薬を処方します ★背中痛み止めの細い管を抜きます 服薬指導 							・生活の制限はありません ・下記の場合、泌尿器科外来(休日・夜間は救急外来)にご連絡下さい 必要に応じて受診していただきます	
検査 処置	採血があります 			手術後、採血があります 手術後酸素吸入を行います 心電図モニターを装着します 血栓予防のための器械が足についてきます (歩行できるようになったら除去します)	採血があります 			・尿の管を抜いた後、尿が漏れることがあります ・パットを当て対処しましょう			・38℃以上の発熱がある ・強い痛みが続く ・濃い血尿が続く ・尿が出ず、腹が張る		
				★痛みや尿の管の違和感、吐き気など我慢せずに看護師知らせましょう ・リンパ浮腫について、看護師より説明があります ・肛門を引き締める運動を行いましょ ・退院後の生活について看護師より説明があります ※次回の外来受診時に病理組織の説明があります 今後の治療の説明をします							退院後必要となる 保健医療サービス又は福祉サービス		
説明 指導	・看護師より入院・手術について説明があります  ・麻酔医による説明があります(家族の方は同席して下さい) ・必要に応じて栄養相談があります ・心配事や眠れない時は看護師に知らせましょう ・手術について理解しましょう ・不安なく手術が受けられるように休みましょう 特別な栄養管理の必要性 (有) ・ 無		《手術に行く前に》 ・貴重品は金庫またはご家族で保管してください ・メガネ、入れ歯、指輪、カツラ等は必ず外します(補聴器はつけたままで構いません) ・手術当日はひげを剃って下さい。お化粧はできません ・マニキュア・ペディキュアは除去して下さい ・ご家族は手術後に医師から説明があります(電話で説明する場合もあります) ・手術後は術後管理のため、ICUに入室する場合があります									□ 特にありません	
備 考	＜手術に必要なもの＞ ・テープ止めタイプオムツ 1枚 ・手術後、尿漏れの状況により尿とりパッドを使用します ・手術までの期間で、骨盤底筋体操をしましょう		・40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります ★わからないこと、心配なことは遠慮なく医師・看護師にご相談ください									その他	

★状況に応じて予定が変更になることがあります

主治医: 印 主治医署名 主治医以外の担当者 看護師:

※主治医の押印がある場合は不要 薬剤師: 栄養士:

